

居希望相談受付中

やまぐちあたっしや館について、
現在次のような相談を伺っています。

- ① 高齢の二人暮らしで、今後介護を続けていけるか心配しています。
 - ② 退院後、自宅に帰れるかわからない。どこかに住むところはないのでしょうか。
 - ③ 持病があり、定期的な安否確認をしてほしい。
 - ④ 火の消し忘れや、道に迷ったりなど、近頃物忘れが心配で、安心して暮らせるようサポートしてほしい。
- など、自宅での生活が困難になってこられた方からの相談が寄せられています。
- お気軽にご相談ください。

連絡先

和歌山高齢者生活協同組合
電話 073-1432-7577



人生の完成期輝いて生きる！

1億2000万円の資金 づくりまで、あと一歩

通信を送るたびに、問合せ・ご協力申し出のお声をいただき心より感謝申し上げます。組合員の皆様知っていただく大事さ学び、今回も重ねてお願いさせていただきます。

昨年より取り組んでいる資金づくりに、100名超から9000万円もの増資・借入の協力をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

いよいよ建設がスタートする「やまぐちあたっしや館(15室)」は、介護サービス付き高齢者向け住宅という安心感をベースにして、「人生の完成期、輝いて生きる」の実現に向け、住む方も応援する方も、家族の様に生活全般を支え合うことで、満足できる日々を過ごす住宅にしていきます。

例えば、認知症のご利用者がサービスを受けるだけでなく、ご自分の役割を発揮して喜ばれる関係づくり。高齢協らしく、こんなこともしていきたいと願っています。

建設におけて、あと一歩の資金積み上げが必要です。どうぞ、ご協力の程お願いします。ご検討いただける方は、是非お問い合わせください。

(常務理事 内田 嘉高)

利息…年1%

期間…5年または10年 一口10万円

キ ャ ヲ ガ

KIFUYOGA

先日、KIFUYOGA(キフヨガ)様より、やまぐちささえ愛センターにホワイトボード2台と時計をご寄付頂きました。

ありがとうございます。大切に使用させていただきます。次に、KIFUYOGA様のコメントを紹介させていただきます。

KIFUYOGAの寄贈をさせて頂くため、わかやまNPOセンター様に協力頂きまして『シニアCO-OPわかやま和歌山高齢者生活協同組合』様に伺いました。

こちら『ささえ愛センター』様の施設では、暮らしに役立つ講座を受けられるスペースや、野菜の販売・お料理教室などができるキッチンスペース、健康メニューが楽しめるカフェのオープンなども考案されているとの事で、高齢の方だけでなく幅広い年代の方のコミュニティの場としての素敵な空間になって頂けることと思います。

さらに、高齢の方が入浴できる浴室や色々な相談を受けて頂ける事務室など、介護をされているご家族様にも嬉しい施設です。

『ささえ愛センター』様の運営は、地域の皆様のご支援が必要になってきます。ボランティアの方も募集されるとの事ですので、ご興味のある方は是非シニアCO-OPわかやま様までお問い合わせ下さい。少しでも和歌山活性化のお力になれますよう、私自身少しづつではありますが頑張っていきたいと思っております！ (KIFUYOGA様・フェイスブックより)



介護保険制度の 改定って？

この4月に、3年に1度の介護保険制度の改定が実施されます。(詳細は、下記の囲みをご参照ください) 国は、2025年の、団塊の世代が後期高齢者になり、高齢者人口のピークに向けて、様々な制度の変更をすすめています。

国の方針は、医療と介護の連携を強めるとして、これまで病院に入院して「療養」していた高齢者を、自宅で介護サービスを受けながら療養する方向がしめされており、重度の要介護状態でも、地域で暮らし続けることが目指されています。

また、「介護」に至らない、これまで「要支援」といわれた比較的軽度の人たちも、市町村での援助制度に移行し、介護保険制度から切り離そうとしています。このことあわせて、日常の困りごとなどは、地域の住民どうしの「たすけあい」(自助・共助)で支え合う地域づくりが求められています。「介護」サービスの提供には、介護保険の給付がありますが、市町村に移行される軽度の方へのサービスは、市町村の財政にまかされており、住民どうしの「たすけあい」については、ボランティア主体で実施する方向性が示されています。

私たち、和歌山高齢者生協は、財政再建の名のもとに進められる、高齢者福祉の切り捨てとも言える、この制度改革に納得するものではありません(昨年は、制度改定反対の署名活動にも取り組まれましたが)、国が求める、「たすけあい」の地域づくりは、我々が理念に掲げている、「人生の完

平成27年4月 介護保険制度の改定について

介護保険制度は3年に一度ずつ、その決まりが変更されることとなっており、平成27年はその年にあたっています。主な内容を確認しましょう。

- ① 在宅医療と介護の連携：医療と介護は互いの相乗りが進みます。病院や施設で過ごす人は少なくなり、自宅や「高齢者のための住まい」での生活が推奨されます。
- ② 認知症施策：ますます増える認知症、国を挙げての取り組みがスタートします。
- ③ 地域ケア会議の推進：「地域の問題は地域で解決！」そんな会議が各地で開かれます。皆さんもぜひご参加を！！
- ④ 要支援者へのサービスが「総合事業」に移行(平成29年4月までに段階的に)：比較のお元気な方へのホームヘルパーとデイサービスは、ボランティアや地域の支え合いに委ねられることとなります。高齢協も腕の見せどころです！！
- ⑤ 特別養護老人ホームの入所は、原則として要介護3以上に：介護の必要性が高い方が優先されます。
- ⑥ 施設に入った時の生活費の負担は、資産なども計算対象に：単身1000万円、夫婦で2000万円を超える預貯金がある場合、生活費は全額自己負担となります。
- ⑦ 低所得者の保険料は割安に：年金収入80万円以下の方は、5割→7割引き。
- ⑧ 高所得者は「2割負担」：ただし「後で戻ってくるお金」もある場合もあり、手続きをしっかりと行ってください。

いずれにしても、介護保険の活用には専門的な知識が求められます。高齢協のケアマネジャーに何なりとご相談ください。



成期、輝いて生きる」「ひとりではみんなのために、みんなはひとりのために」の実現に、必要不可欠なものです。

地域の中で、「お互いたすけあい」を実現できるよう、組合員さんどうしの交流や絆づくりをすすめていきたいと考えています。国が見捨てようとしている、高齢者が「安心して生活できる」地域づくりを、私たちの手で実現しましょう。

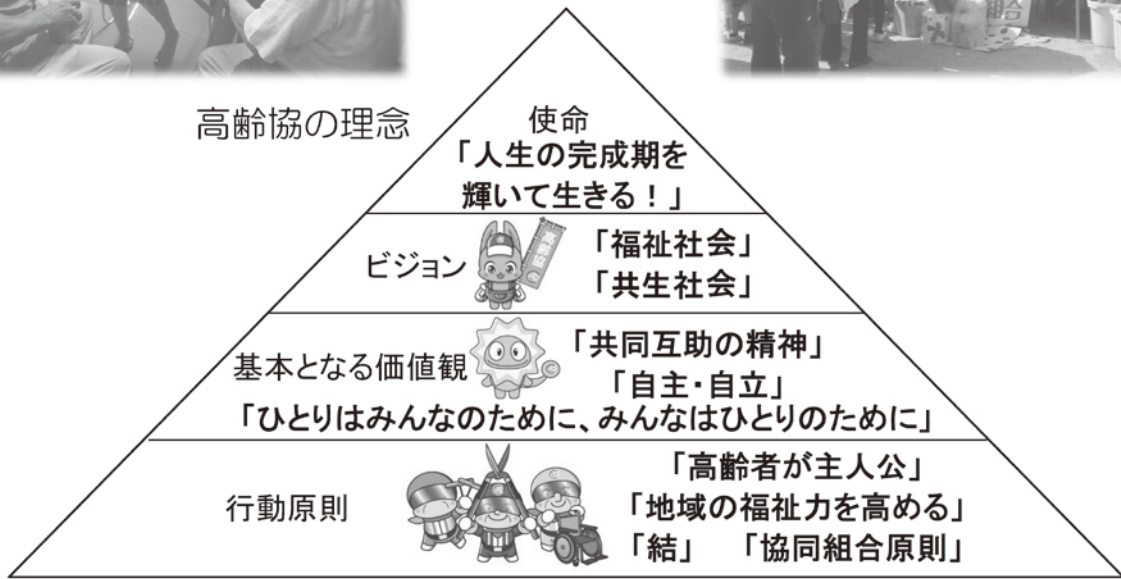
みんなで、 つながろう！

日常的に交流のある「仲間」から、たまに挨拶する「近所さん」、あまり顔をあわさない「お隣さん」まで、みんなで、お互いに思いやり、気配りをしながら、安心して暮らせる地域を作っていきましょうか？

難しいことは考えずに、日常の挨拶などの「声かけ」や、趣味のサークルのような集まり、ちょっと立ち寄る「たまり場」など、とにかく、周囲の人たちと話をして、交流しましょう。そんなつながりを、どんどん広めていければ、「たすけあい」の地域は、すべからず広がります。

みんなで、手をつなごう！
心をつなごう！

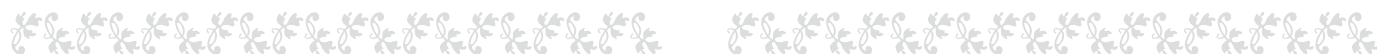
(事務局長 高林 稔)



同組合15周年記念

人生の完成期、輝いて生きる

(2015年2月22日)





和歌山高齢者生活協 『生きがい事業部交流会』



和歌山高齢者生活協同組合

デイサービス、めくもりの家&上秋津の里

～人生の完成期 輝いて生きる～





高齢協のデイサービス皆さん楽しんでます



海南事業所

二年前、海南市に訪問介護事業所を立ち上げました。経営的には頭打ち状態で苦戦中ですが、地域に根付いた事業展開を目指す目標に向けて、高齢者を中心に皆が集える「居場所作り」を計画しています。国の地域包括支援システム政策にも乗っかる方向で具体的な設立準備に入っています。昨年十二月より長寿社会文化協会主催の「地域の居場所開設講座」(全5回)を受講し始めています。「今の時代なぜ集いの場が必要なのか?」という概念部分から、実際の運営状態の見学、設立・運営の苦労・工夫、事業計画作成等々色々な講師に指導していただいています。



基本的なスタンスは様々な地域資源(地域包括・社協・自治会・老人会・民生・児童委員等)を利用させていただき、主役は地域の人々、高齢協は裏方としてバックアップに徹する立場にいるという方向で近日オープンしたいと思っています。

(海南事業所 所長 瀬藤 幸生)



コミュニティカフェ開設講座



グループ討議で喧々諤々



コミュニティカフェとは、地域の方々が集まることができる（居場所）であり、現在各行政が「サロン」とか「つどいの家」などという名称で、補助金を出してなんとか地域に根付いた活動にしようとして努力しています。今回は、それを地域の融資の人たちが実現させるための手助けとして行われた講座です。



粉河 山崎邸での実習



横畑

平井

高齢協からも、たくさんの方が参加してくれました。
参加者それぞれが考えた企画提案を発表し、優秀と評価された、横畑さん（田辺お助け隊）、平井さん（営繕女性部）が、東京での発表会に招待されました。